

第1章 令和元年度山口大学埋蔵文化財資料館の活動報告

当館は、昭和53年(1978)設置以降、山口大学構内が所在する遺跡の調査・研究を行うとともに、収蔵資料の展示と公開、また埋蔵文化財や考古学にかかわる社会教育活動を行っている。具体的には、展示・情報公開活動として、当館展示室において年度内に3回程度の資料展示を行うこと、刊行物やホームページなど各種メディアを通じて遺跡及び収蔵資料の情報を公開すること、社会教育活動としては、講座やワークショップの開催、授業や講演会等への講師派遣、公立博物館との連携事業の開催など、学内外の要望に応じた地域連携・生涯学習支援活動を実施することである。

令和元年度は、展示活動として、第41回となる企画展のほか、県内の大学博物館・図書館が各大学の学術資料や教育研究成果を展示にて公開する「山口県大学ML(ミュージアム・ライブラリー)連携事業」に参加したが、平成24年度より継続して年度末に開催していた山口大学学術資産継承事業委員会事業成果展『宝山の一角』は、新型コロナウイルスの影響により急きょ中止となった。情報公開活動としては、平成27年度の年報と、広報誌『てらこや埋文』を刊行した。社会教育活動については、平成27年度に山口県立山口博物館と締結した連携協力協定に基づき、宇部市東岐波地区を対象に『講座 古代ウオーク』を開催し、関連して宇部市教育委員会が企画した資料展示『東岐波の出土品』に協力した。また、山口県立山口博物館との共催でテーマ展『弥生時代と米作りー食生活の革命！』を開催した。

当年度の総入館者数は1,964名であり、前年度に比して2%増加した(表1)。月別入館者数を見ると、例年とは異なり年度当初の4月が最多入館者数となっており、授業課題等で活用された6月、オープンキャンパスが開催された8月、ホームカミングデーが開催された10月も増加傾向を見せている(表2)。

次頁より、当該年度に実施した展示・情報公開活動と社会教育活動の詳細を報告する。

表1 埋蔵文化財資料館利用者の推移

年度	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元
利用者総数	355	267	191	200	516	142	555	573	913	669	808	1,157	1,228	776	1,333	1,718	1,473	1,072	2,037	1,787	1,995	2,192	2,072	1,918	1,964

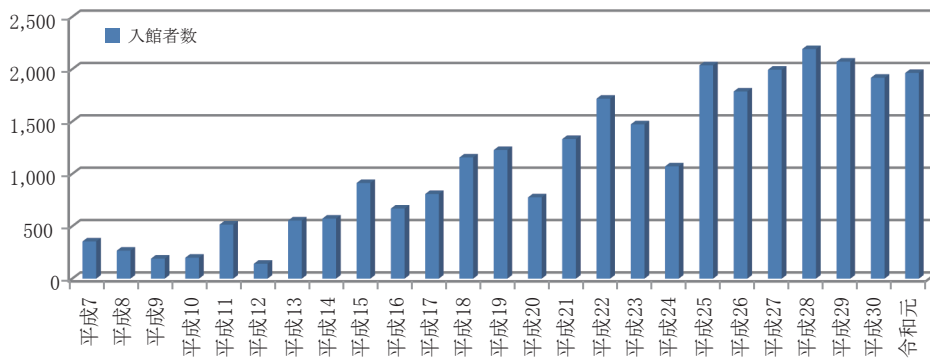


表2 令和元年度月別入館者数

入館者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入館者数	468	154	329	67	309	86	275	78	113	85	休館	休館

